学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ（通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版世界史Ａ 新訂版　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

激動する現在の世界の中で、国際社会を理解するには世界史を学習することが必要です。特に、世界史の中で日本の歴史を考えることは大変重要なことです。21 世紀の国際社会で我々はどのように考えるべきかを学んでください。まず、世界の大きな枠組みを理解し、世界の地理や歴史を学んでください。世界の文化の多様性を知り、歴史を知り、国際社会で主体的に行動する自分の姿を想像しながら、学習を進めてください。

そして、その国は地図のどこに位置するのか？現在は何という国になっているのか？を知ると学習が早く進みます。人物名を覚えるだけでなく、その人物が歴史の中で果たした役割を知ることが必要です。また、戦争や革命が起こった理由は何かを知ることも大切です。

２　学習の到達目標

・世界の歴史の枠組みを知り、地理的条件や世界と日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と複合性を考えることができる。
・歴史的思考力を育て、国際社会で活躍する者としての自覚を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	近現代史の歴史に関する関心と課題意識をもち、国際社会に生きる者として、国際理解を進める態度をもつ。	世界の歴史から課題を見つけ出し、文化の多様性やその国の特質を多面的に理解し、公正に判断し、その歴史的過程を適切に表現している。	近現代史の歴史に関する諸資料を収集し、有用で公正で、正確な情報を選択して、図表等にまとめる力をもっている。	近現代史の歴史に関する基本的な知識を、地理的条件や世界と日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	定期考査 課題レポート 授業態度 出席状況	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	主権国家の誕生	・アジア地域の繁栄と日本	・西アジア ・南アジア、 ・明、清帝国	○ ○ ○	 ○	○ ○	○ ○ ○	a:アジア諸地域の繁栄の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b:アジア諸地域の繁栄を日本と関連付けて、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: アジア諸地域の繁栄の歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・授業態度 ・出席状況
		・ヨーロッパの拡大と大西洋世界	・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家の誕生	○ ○	○ 	○ ○ 	○ ○ ○	a:ヨーロッパ地域の繁栄の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b: ヨーロッパ地域の特質と繁栄を、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: ヨーロッパ地域の繁栄の歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・授業態度 ・出席状況

後期	国民国家と世界	・産業社会と国民国家の形成	・産業革命 ・フランス革命 ・アメリカ諸国の独立	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a: 産業社会と国民国家の形成の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b: 産業社会と国民国家の形成を多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: 産業社会と国民国家の形成を理解し、知識を身につけている。	・定期考査 ・課題レポート ・授業態度 ・出席状況
		・世界市場の形成と日本	・市場の形成 ・ヨーロッパ諸国のアジア進出 ・20 世紀のアジアの動揺	○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 世界市場の形成とアジアの動揺の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b: 世界市場の形成とアジアの動揺を多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界市場の形成とアジアの動揺について、その時代の文字史料、絵画、写真などの資料から有用な情報を読み取り、図表にまとめたりしている。 d: 世界市場の形成を理解し、20 世紀のアジアの動揺の知識を身につけている。最新の国際状況にも関心をもつ。	・定期考査 ・課題レポート ・授業態度 ・出席状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識･理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。